

マサングループ(MSN)

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-411-965

ホームページアドレス: http://www.news-sec.co.jp

<概要>

ベトナムの大手食品・鉱業・金融企業。ベトナム家庭の98%が何らかの当社製品を保有していると発表されている。当社の前身は海運会社であるが、現在は食品事業・飼料など主な事業としている。醤油、ソース、即席めん、インスタントコーヒーなども手がけている。今後、肉類の生産にも注力し、養豚業（ベトナム最大級）や飼料なども手がけている。最近ではビール事業にも進出しビール好きなベトナム人の市場に参入を図っている。また鉱業部門においては北部ベトナムに世界的なタングステン鉱山を所有している。またビスマス、螢石の生産も行っている。金融分野においてはテクコムバンク（銀行業）の株式を保有し、まだ銀行口座の普及が遅れている農村部などにも銀行サービスを展開するべく注力している。

マサン グループ 各事業の概要

事業会社名	売上げ (2017)	マサングループ 持ち株比率	中心業務	今後の業務
マサン コンシューマーホールディングス	13.5兆ドン	85.7%	調味料 簡易食品 インスタントコーヒー	飲料 加工肉 ビール
マサン ニュートリサイエンス	18.7兆ドン	82.4%	飼料	肉類
マサン リソーシズ	5.4兆ドン	96.0%	産業用鉱物資源	
テクコム バンク	16.3兆ドン	25.2%	金融サービス	

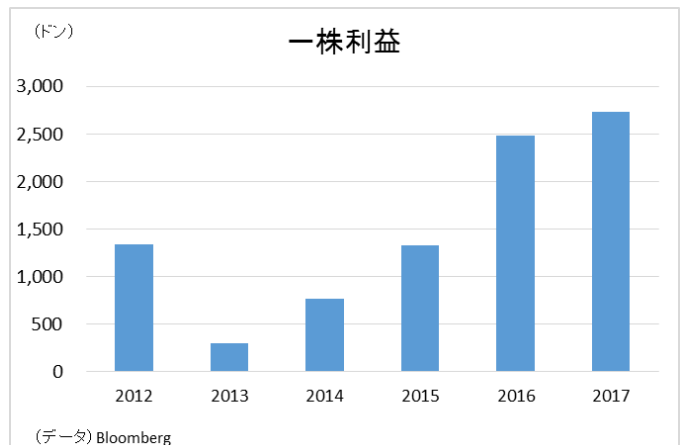
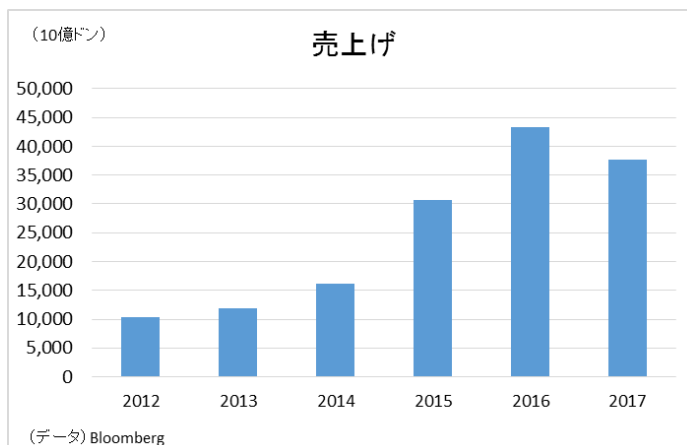
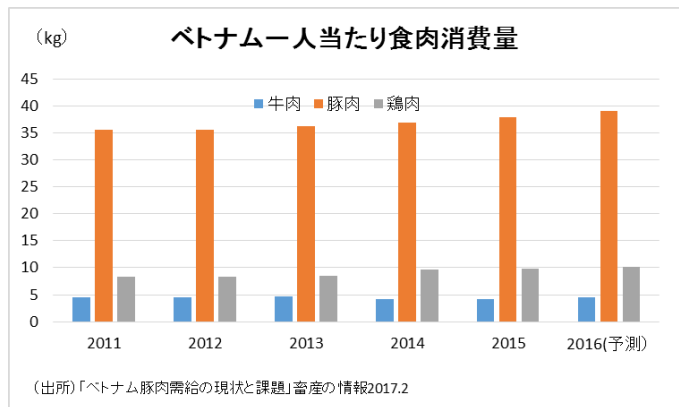
(出所)MASAN GROUP

<業績>

ベトナムの食品市場は順調に拡大しており、都市部を中心に一人当たり所得の上昇に伴って様々な食品が販売されている。当グループのなかでも食品事業は安定的な収益源として各事業部門のなかで中心的な業務となっている。養豚から食品加工、食品包装業務など川上から川下にいたる幅広い業務を手がけているため、高い付加価値を維持することができる。

今後食品関連業務のなかでは肉類の生産に期待がもたれる。肉類のベトナムの国内消費量は増えつつあり、かつ輸出需要も増える見込みである。

なお当グループにおける金融業務においては農村部における銀行業務の拡大の余地が大きいことから今後も成長が期待される。また鉱業部門についてはタングステンの鉱山を保有、タングステンの濃縮化をはかり付加価値を高める努力をしている。



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限: 作成日より6ヶ月

News20180301-2

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると推定される情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000ドン)、が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。